



里山通信

『蒲沢(かばさわ)』


第36号

平成20年5月4日発行

発行責任者

里山ねっと赤坂

代表 和田 伸太郎

 5月3日(土)、「若葉の観察と山菜を食する会」を実施しました。49名の方が参加。集会所脇から沢に降り、銅谷原口から東屋^{あずまや}をめざすルートを歩きました。里山は濃淡の緑につつまれすっかり初夏の装い、早くもヒメシャガが可憐な姿を見せていました。今年は例年になく山菜の成長が早く、こしあぶらも葉が開いてしまい食べごろを少し過ぎていたのは残念。三歳になった橘^{たちばな}ちゃんも最初はお父さんに甘えていましたが、山歩きでは先輩格の^{あずまや}ちゃんと手をつないでから

元気になり、一生懸命歩きました。2時間たらずで東屋に到着、早速採り立ての山菜をご婦人方に天ぷらにしてくださいました。当日採取したものは少なかったのですが、吉田さんはじめ世話人の方が、この日のために食べきれないほど沢山のたらの芽やこしあぶらを取っておいてくれました。おかげさまで参加者一同、山菜の味を堪能できました。また、東屋周辺はクロモジが多く、昨年同様、若枝を細かく切ったものを煎じて飲みましたが、良い香りとまろやかな味で大変好評でした。



(東屋での記念撮影、皆さん、楽しそうですね。)

